



静脩

2005年10月

The Kyoto University Library Network Bulletin

Vol. 42. No. 1

京都大学図書館機構発足への期待

京都大学総長 尾池 和 夫

大学の図書館は、大学の知的シンボルであり、大学の文化バロメータでもあります。京都大学の図書館も、知の創造場所として、また、知の宝庫として、さらに、知の継承場所としての重要な使命を担い、大学の歴史とともに図書館の歴史も作られてきました。この歴史の流れの中において、図書館は、教育支援と研究支援が本来の一番大きな課題でしたが、利用者のニーズにどう応えるのかを常に検討いただき実現していただきたいと希望いたします。

とりわけ、学生に対してのサービス向上について、図書館においても全学を挙げて取り組んでいただきたいと考えております。また、図書館そのものについても、紙媒体資料を使用した従来型の図書館サービスだけでなく、インターネットの活用とIT技術を使用した情報提供サービスを融合させたハイブリッド型の図書館サービスの展開に京都大学の図書館が連携して取り

組み実現していただきたいと期待しております。

京都大学は、幾たびか変革の時期を迎え乗り越えてきております。今日また、新たな一つの波に直面しています。先人達が難局を克服し、今日の京都大学を作り上げたように、勇気をもって打開していく使命を、今、京都大学にいる私たちが担っています。京都大学の図書館も機構という新たな枠組みの中で、教育、研究、社会への貢献の任を果たしていただけることを期待いたします。



(おいけ かずお)

京都大学図書館機構のウェブサイトを新しく公開しました。

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

従来の附属図書館ホームページのURLは変更になりました。

<http://www3.kulib.kyoto-u.ac.jp/>